

深めよう 地域のふれあい 広めよう ふくしの輪

白方地区社会福祉協議会広報誌

第9号

総務グループ

事務局 白方コミュニティセンター

TEL 029(287)3534

ふくし白方

24年度 に向けて

—白方地区社会福祉協議会 総会でのあいさつ—



白方地区社会福祉協議会 会長 梅津 秀雄

昨年の4月より、不慣れな私ども3役に対し、多くの支えやご協力を頂き、何とか今日の日を迎えることが出来ました。ありがとうございました。

この1年を私なりに振り返るとき、古代人がそうであったように、大きな石を多くの人で坂道を引き上げるような感じを持ちました。後ほど事務局より具体的な活動内容などの報告があるかと思いますが、あえて特徴づけますと、総務、支え合い、ふれあい各3グループのグループ長を中心とした話し合いや会議を積極的に開催いただいた事です。各グループ員には、地域を代表する気概を持って更に積極的な意見をお願いします。また、ふれあい食事会の制度切り替えに当たり、ふれあいグループが中心になって、利用者スタッフ両者を対象とした大掛かりなアンケートを実施し、多くの貴重な意見の下に24年度も継続事業につなげた事です。更に、昨年11月に開かれた「大震災を経験して地区社協を考える会」では、例えば井戸のマップづくりの必要性や隣近所との付き合いの大切さ、見守りに於ける協力員の限界など実に多くの意見がありました。これらの問題提起に対し、フィードバックがスムーズでないと指摘もいただきました。

今年度はこれらの反省や教訓を生かし、少しでも活動計画に織り込めるものは取り入れ、また、民生委員、自治会などとの連携も深めて問題解決に取り組みたいと思います。折に触れてお願いしておりますが、ふれあい食事会へのスタッフや対象者の拡大、見守り活動などを通して要援護者との意思疎通を図り、隠された福祉ニーズを発掘するなど引き続きお願いしたいと思います。

最後に、何よりもみんなが明るく元気に活動する事が大切と思いますので、今年も宜しくお願いします。



総会風景

平成24年度

ステップアップします!!



事務局長 宮本 荘一

4月15日、白方地区社会福祉協議会総会が開催されました。来客として、役場菅野福祉部長、村社会福祉協議会黒羽根会長のご出席をいただき、梅津会長の挨拶の後、議事に入りました。

提示事項はすべて全会一致で承認されました。

24年度の運動方針では、「誰もが暮らし易い、支え合いの地域を目指して多くの人に参加する活動」をスローガンに各種事業を掲げました。

特に強調したい2点を申し上げて、皆様のご意見もいただきながら推進したいと思います。

1. ふれあい食事は、継続実施（2回/月）をしますが、アンケートでの貴重なご意見を出来るだけ取り入れて、従来にプラスして工夫しながら対応したいと思います。利用者、スタッフの皆様も喜んで頂ける事業になるよう進めます。
2. 震災に対応すべく、井戸水マップの作成要求が多く出されました。この対応は、白方地区自治会とも、よく連携を取って進める所存ですが、それぞれの地域では生活環境も異なるので、画一的な対処ではなく地域の意見も充分取り入れて対応したいと考えております。

各地域の活動紹介

地域リーダーの熱き決意を紹介します。

岡地域

更に充実した活動を！

リーダー地域代表 富永 修身

岡区ふれあい協力員は、ふれあい食事会と年2回のふれあいサロンを中心に実施してきました。ふれあいサロンでは75歳以上の方を対象とし、出席できない方にも花鉢をプレゼントして喜ばれています。また、自治会主催の「納涼まつり」にも協力員が積極的に参加・協力してきました。3月にはふれあい食事会参加者に対するアンケートを実施しました。良案を今後の事業に採り入れたいと考えております。今回、自治会に要望して40インチのTVを購入していただきましたので、さらに充実した活動をしてまいります。

地域だより

3月7日に「ふれあいサロン」を実施しました。今回は、参加対象者と協力員による歌謡曲・民謡の合唱、ゲーム、食事及び協力員手作り踊りを実施し、楽しく過ごしました。



ふれあいサロンでこんな余興も

豊岡地域

ふれあい敬老会を計画します

リーダー地域代表 橋本 美晴

ふれあい敬老会を今年も11月に予定したいと思っています。みんなで楽しめる内容を委員会で検討していく予定です。年一回の行事でも、楽しみにしているお年寄りがいることに喜びを感じながらやっといこうと思っています。



亀下地域

独自の事業展開

リーダー地域代表 宮本 荘一
 亀下ふれあいサークルは、独自の事業を展開しております。毎年6月に80歳以上の方に白方コミセンの調理室で弁当を作り、安否確認を兼ねた配食や協力員の女性のみで食事をとりながらのミーティング、さらに、会員の研修と親睦を兼ねたバス旅行などを行っております。これら活動を通して、会員相互の親睦と絆を深め、連携を密にしながら災害時など、何時でも対応できるよう心がけて事業を推進していきたいと思っております。

地域だより

4月24日に亀下集会所において、亀下ふれあいサークルの総会を開き、提案事項全てが全会一致で承認されました。今年度新たに協力員7名の加入があり、総数45名となりました。食事会の調理・接待などの役割分担を確認し合い、最後に、仲間づくりや自己実現に努めようと懇親会を行い、会員相互の親睦をふかめて散会しました。



ふれあいサークル総会

豊白地域

事業を実施するにあたって

リーダー地域代表 鈴木 芳樹
 今年度の事業計画は、昨年と同じですが、内容の充実を図る所存です。事業の開催前には役員会を開き、内容などの細かい話し合いを履行します。子ども会の子供が少なく、行事の華に乏しい感じはありますが、是非親の協力を得て夏祭りなどの行事を進めたいと思っております。また、自治会の協力も期待しております。

地域だより

2月26日に「桃の節句の会」を実施しました。女性を祝う祭りに75歳以上11名、女性調理グループ、男性支え合いグループの全員で童謡を合唱、ビンゴゲームなど弁当を食べながら楽しみました。



桃の節句を楽しみました

白方地域

「ふれあい協力員の集い」を開催

リーダー地域代表 蓮田 弘
 5月13日、白方コミセンにおいて40名の参加を得て「ふれあい協力員の集い」を開催しました。白方地域のふれあい協力員は、毎年新しい班長さんが新規に加入するので、年間事業内容の詳細説明を行いました。特に見守り活動において、要援護者に対する声かけや異常があった時はリーダー又は民生委員に知らせるためのつなぎ役を果たしてほしいなど、活動の内容が説明されました。

最後にリーダー毎に6班に別れて話し合いを行い、お互いの顔合わせが出来たこと、又、班内のひとり暮らしの方、高齢者のみの方や昼間独居の方などの確認とその方々を周りで支え合うことは大事だという事を皆んなで認識でき、収穫のある集いになりました。



ふれあい協力員の集い、真剣です

村松北地域

24年度は新しい発想で

リーダー地域代表 疋田 浩

待望の村松北区自治会集会所が出来ました。従来、合同庁舎を借用してふれあい食事会を実施していましたが、昨年の大震災で集まれる場所が無くなり、一年間は宅配弁当食事会？を余儀なくされました。配達日には家の前まで出て「ご苦労さん!」と迎えてくれた笑顔は忘れられません。これからは自前の集会所で楽しみます。また、今年度の花見会、敬老会、新そばを楽しむ会などの事業が盛り沢山計画されており、新しい発想で楽しい集いを是非期待して下さい。

地域だより

恒例の第4回桜見会（東海中）は、地域の75歳以上の高齢者を招待して4月14日に開催しました。無常にも昨日からの雨は止まず、桜は満開で最高の状態でしたが、急ぎよ舟石川3区集会所に舞台を移し、室内観桜会となりました。室内の花びんには桜花が飾られて雰囲気演出、ふれあい協力員を含めて46名がささやか？な弁当と話題で春を満喫しました。



観桜会は急ぎよ室内で



混ぜご飯です

百塚地域

笑顔あふれる百塚地域の活動

百塚福祉サークル 井上 雅貴

百塚地域も65歳以上の方が昨年より31人増え、75人と益々地域の絆による安心・安全で生きがいのある生活支援が重要になってきております。今年度は昨年と同じ内容で「継続は力なり」と自画自賛で活動することにしました。

活動目標は、

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1. 白方地区社協共通事業として | 2. 地域独自または村社協推奨事業として |
| ①ふれあい事業「ふれあい食事会」 | ①敬老会 対象者75歳以上 |
| ②支え合い事業「見守りネットワーク」 | ②いきいきサロンバス旅行 年2回 |
| | ③ちびっこ広場 年7回 |
| | ④世代間交流 年3回（七夕会、クリスマス会、ひな祭り会） |

と多岐にわたる計画になっています。会員全員でチームワーク良く頑張っていくつもりです。

地域だより 支え合いグループ 藤原 幸子

3月は世代間事業として、百塚集会所でひな祭りサロンを実施し、高齢者の皆さんと子供たちがともに楽しみました。また、那珂市歴史民俗資料館、西山荘に33名でお花見に出かけました。資料館入り口の桜並木が大変きれいでした。



ひなまつり風景



西山荘にて

あなたも『ふれあい協力員』としてボランティア活動をしてみませんか!!

白方地区社会福祉協議会の事業は全て「ふれあい協力員」の活動が基盤となっています。できるだけ、多くの地域住民の方に活動に参加していただくことが地域福祉充実の鍵となります。本会では多くの方々に協力を願って、いつでも「ふれあい協力員」の希望者を受け付けております。ふれあい協力員となって地域福祉活動に参加してみようと思っておられる方は、下記までご連絡ください。

白方地区社会福祉協議会事務局

TEL 287-3534